제415호　1910. 5. 28.

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價(一枚金二錢▲一ヶ月前金円五[illegible]▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢)
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金(▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢)
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久紳一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

寄書

民團合併に就て

櫻井町　水垣仙太郎

京城[illegible]居留民團議員諸氏が屢々實業新報紙上に於て京城民團の合併に對する意見を公表し議論を互換せらるゝは吾輩[illegible]に諸氏か居留民の爲め福利を圖謀することに熱心誠意なるを深く感謝するに餘りありと謂はん乎

然り諸氏か眞重なる紙面を以て茲に公表せられたる仕圖より最後變遷の結果たることは些細の言事にして彈らざるなり況んや會議、石井、掛川氏の如き議員中尤も議論の資料を寄する諸氏に於てをや敢て[illegible]諸氏等の一言一句は比較的一般居留民の注意を促がし又當局者に於ても眞面目に研究材料に供することある事實の頗る明の必要なきことゝなり[illegible]今諸氏等の意見は悲哉萬口喙唧して魚の水を仰ぐか如き程に居留民の輿論を惹起する感動を與へざる是れ諸氏等か熱心の度未だ足らざる結果なりや果た又研鑽の不足か或は又不徳の致す所なるや諸氏等自身も感知せらるべし茲に於てか吾輩は諸氏等に失禮ながら一言の注意を促かすと同時に更に新らしき頭腦の下に根本的解決の斷案を發表せられんことを希望す堪へざる所なり

惟ふに諸氏等か公表せられたる意見の一端に曰く京城民團の財政は餘裕わらずして窮乏を告く云々とて合併反對の意趣を有するも如く或は時機尤も好時なるを以て併合は一日も速かに決定せざる可からざる如く説いて贊成の意を表せるあり或は愼重審議以て可否を決定すべしと論ずるあり皆是れ諸氏が居留民の休戚を慮ると雖諸氏は僅かに眞面目に意見を公表せるものと謂る能はざるなり何んとなれば諸氏は嘗て龍山民團を京城團に併合するの議監督官廳に於て立ちたるの時龍山側は切りに聲を大にし夜中當局者の官門迄叩いて迄も反對を主張せり然るに京城の有志は牛の眠るか如くして何等一言の矢を放たざりしは諸氏の心底深く一定の見識と抱負を有せる所以の爲めなるべし向は今日は既に約一ヶ年有餘の日月を經て再び本問題の起るに於ては苟も諸氏か當時冷等の感眷なかりしを諸氏自身に自白するものなり或は秘密協議を凝らし一部の徒輩に於て八百長的談合せらるは戰中議員たる者の責任を知らざるものにして居留民は默過すべからざる問題なり斯くの如くして諸氏は既に當[illegible]本問題を[illegible]中代解決し居らずんはあらざるに[illegible]長の下に經營せらるゝ新聞紙に甲乙議論を鬪はし丙丁意見を異にするは實明なる社長殿は心中僅かに舌を捲いて諸氏の暗愚を笑ふて已まざるべし諸氏は陸上蛛網の間に立つて議論を爲し意見を吐くには適當の武士或は粹士ならんも歸らん見よ拾有餘年前より居留民の代表者として議員の制度を施し今日に至る迄停議會能くも居留民の休戚を緩び格勤[illegible]始終[illegible]ざるの徒幾人かあらん僅かに説を換へ夕に主義を狂くるの多數者を見るは吾輩只管慨嘆に堪へざるなりかるが故に質屋の亭主公、高利貸の主人公、請負人の親分、代書人の徒輩まで出鱈目言論を逞しふするの所以是れ畢竟居留民に對して不親切を積せるの甚ゐなり言換れば諸氏は居留民の不信任を負へるものにして反省せずんはあらざるなり反省せずして徒らに議員の肩書を弄し妄論を敢てせば罪益々大にして深きを増すのことなれば須更く其本に歸へるを吾輩は切に諸氏に忠告す

然らば如何にして本問題の根本的解決せん乎曰はく多くを語るの必要なし小人の憂慮する財政云々政務統一論或は一部人民の利益壟斷云々の如き僻見論は併台一部の末葉論にして吾輩の取らざる所なり此れ等は諸氏が保まり鑑定見にして然る神經過敏を釀せるの結果大本の意見を忘れたる爲めなるべし要は即ち左の一言にして足る曰く

我が京龍居留民は來る幾日駐劄軍練兵場に於て居留民大會を開らく大會は合併に對する可否を多數に決し其決議は民誠の輿論と認め直ちに監督官廳に認可の申請を爲すべし(五月二十日起稿)

雜報

富豪ロスチアイルドの秘密

飛澤　翻譯

大富豪ロスチアイルドがフランクフォルド、ヒルと云へる所に居住せし頃、其の邸前にラカスなる富める株式仲買住めり、偶々ラカスが深更夜會よりの歸るさ馬車にて、ロスチアイルドの門前を過ぎりたるに、今や何處にか出發せんとする一輛の馬車の用意せられて横はるゝあり、其馬車の傍に頻りに[illegible]する四人の紳士あり、其一人はロスチアイルドにして、彼は別に自ら乘用せんとする馬車を遠に用意すべきを家内の者に命じ、今其馬車の門前に現るゝを待合せ居る所なり、ラカスは此光景を見て、心臟の鼓動遽に高きを抑へつゝ小暗き樹蔭に身を潜めて彼は夜既に更けたるに何事を劃策し居るかを知らんが爲め、ロスチアイルドの一擧一動を觀察せり、一輛の馬車は新に準備せられたれば、四人は二輛の馬車に分乘し、ロスチアイルドは其馭者に命ずるに市街に設けたる自己の事務所まで驅らすべきを以てせり、彼等は人目を忍ぶが如き風情なりければ、ラカスは富豪ロスチアイルドが何等か巧妙なる劃策あるべきを推斷し、ロスチアイルドの馬車驀驅として發するに及び彼も自己の馬車に乘じてロスチアイルドの馬車の趨くまゝに追跡せり、ロスチアイルドの馬車は其事務所に停りたれば、彼も亦其馬車を停め、車扉を排して街衢に出でさながら醉漢の如く僞りて跟蹌として歩みつゝロスチアイルドの事務所の戸を叩きたり、事務所の留守番は今其主人及び來賓の入來を迎へたるに、更に新客の大聲を以て呼ぶに驚かされたるが留守番も何とはなしに其戸を押開きたり、彼は巧に蹣跚たる體態を押入れて、ロスチアイルド及び二三の來客の居合せる室の一隅に横はれり、ロスチアイルド及び其來客は大に驚嘆して其醉漢をば之を室外に排除せんとしたるが彼は益々其演劇を巧にし、更に恰も卒倒せしが如く、若し其場所より一歩をも動かさば非常に苦痛なるが如き態度を示せしかば、ロスチアイルドは醫者を招聘すべしと云ひたるが事務所の留守番は自ら冷水を彼が顏面に注ぎ、彼を目覺さんとせり彼が漸く發斯するや留守番は毛布を持ち來りて彼に被らしめたり、是に於てロスチアイルドと來客との談話は開始せられぬ、ロスチアイルドが齎らしたる新聞は、當時西班牙に於ける或る事件が好結果を奏したるを以て、其眞相が社會に公にせらるゝに及びては、從來沈睡せる株式市場は頓に振起すると明確と爲りたるにあり、此報知に基づきロスチアイルドは仲買に命じて、其翌日十二時に於て株式市場に於て成るべく多額の買占を爲さんことを企劃せり、ロスチアイルドは之を仲買に委托する爲め取急ぎ各仲買に此事を通知したり、窃に之を聽き居たるラカスは遽に頭を擧げて余は劇烈なる頭痛に苦めりと言ひながら起き上りたるが、例の留守番が彼をして倘少しく靜臥するを慫慂するをも拒みて、立上りて戸外に出で直に仲買店に至り、明日午前十時に於て總ての株式を買占めんことを命じたり、ラカスとロスチアイルドとは其十一時に株式取引所にて遭逅したるが、ラカスは全勝を得たり、爾來ロスチアイルドはラカス卑劣邪曲なる詭計を思ひ出す毎に戰慄せりと、

◎新刊紹介

▲禪學及德育(第一卷五月十七日大坂市西區新町北山德育社發行一册十二錢郵税二錢)

▲精神療新報(第七十五號)「狐が人を化す原理」「奇蹟と催眠」など云ふが載せてあり(東京芝愛宕町精神研究會發行定價十錢)

▲刀劍會誌(第七卷四號五月十五日東京麻布區飯倉町二五花月庵發行定價卅錢)

▲蘭業(櫻花號四月大阪北區北梅田町九六〇二大阪蘭業ブローカー發行入錢)

日本銘刀傳

第百廿三席　津田近江之守(廿七)　邑井一講演

大野九郎兵衛眼の前で刀を打折られたのだから何とも言ふことが出來ない、唯呆然になつてブル／＼顫ひて居る、近江守助直は此所ぞと思ふものでありますから、グッと計りに九郎兵衛を睨み　助「如何でござる御家老、美事に打折りましてございます、私も刀鍛冶で世渡りをして居るものでございます鈍刀か鈍刀でないか見分けることが出來ない事はありません貴方は斯樣な鈍刀を手挾んでお在で遊ばして、殊に大祿をお取りなさつて家老の上席にお在でなさるが、危急の秋の役に立つと思召すか、斯ういふ物を手挾んで御自慢を遊ばすか、憚りながら助直の鍛へました刀は決して折れるやうなことはございません、それとも疑はしいと思召すなら貴方一打ち打つて御覽なさい、幸ひ私が此所に槌を持つて居りますから

九「汝の刀を誰れが打つと申した」助「然らば折ることは出來ますまい、私は何も事を好むのではございませんが、折れたら存分にならうと仰しやいましたが、何も然う仰つしやつたからといつて、御當家の重役樣に對して手出しを仕やうとは思ひませんが、しかしマア是れは貴方のお身の爲でございますから申上げますが以來は斯ういふ刀をお差し遊ばすな、斯樣な物を差して御自慢なさると人が笑ひます、誠に大野といへる仁は高祿を取つて居て彼樣な鈍刀を差して居るが、何がために知行を貪るのであらう、疑かうものは事によつたら彼奴は知行泥棒祿盜人ではないかと人が申します　九「ナニ、身共のことを知行泥棒だ　助「左樣でござります、此樣な鈍刀を差して居らつしやつて何の役に立ちます、殆んど知行泥棒に等しいではござりませんか、マア謂はゞ左樣なものでござりませう、無禮の過言と思召さば如何やうともなさい、先年私の主人是れなる岡島彌惣右衛門に對し貴方は知行泥棒と仰せられましたことがあつたさうで、仰しやつたお前さんが眞個の知行泥棒だ、岡島彌惣右衛門は役目を粗末にせず、殊に家は貧しい暮しを致して居りますから、成るたけ物事は質素に致しまして平生は太平のこと、又斯樣な無禮講の席上へは何も名刀を手挾んで出るにも及びませぬから、畢竟する平生差を手挾んで參つたのでございます、岡島位の小身者が平生差して居るのは赤鰯で結構でございます、それでも武士の魂といふことが出來ます、卒さといふ時には岡島は戰場に於て之れを用ゐます如何に岡島樣、貴方の大小刀を一寸お貸しを願ひます」彌惣右衛門の大小刀を取つて　助「まづ御家老、是れが彌惣右衛門の腰器でございます、御覽下されと鞘を拂つてズイッと目の前へ突き出しました、實に明晃々たる利刀でござります　助「是れは津田越前守と助直の合作で鍛へ上げましたもので、岡島が我が君樣より拜領の上所持いたして居られますのでございます、また小刀は私が心を籠めて打ちましたるものでございます、大劍がお目に留りますれば、此の小刀を御覽に入れます」さ又候小刀を拔いて見せました、流石の大野も偖は岡島彌惣右衛門め先年乃公が講座の中で恥を被かせて遣つたのを遺恨に思ひ、助直を以て其の仕返を致したか、重々不埒な奴とは思ひましたが、何分自分が此の場合に至つて見れば一言半句の口出しも出來ません　九「イヤ誠に何うも恐れ入つた、何といはれても致方がない、併し乃公も斯樣に折れるやうな品とは知らず致して購めたのである、能く氣を付けて呉れた、是れから後は乾度心得ることである、…アヽ御前、先程より大野九郎兵衛は少々腹痛でござりますから、中座御免を蒙ります」と其の座に居堪らずして自分の宅へ逃げ歸つて了ひましたので、跡で一統の者は大笑ひをいふことになつた、



東京電報

▲季賓御歌下賜 維新の鼎議を翼贊したる勤王家故三條季賓卿の三十年祭施行の赴を聞召され皇后陛下には左の御歌を下し賜へり

さやかなるこゝろのこれ言のはのみちしるべせんやまほとゝぎす

▲殉難者と義捐金 第六號潜水艇殉難者の遺族に對し内外の同情頗る厚く其の義捐金四萬圓の多きに達せるより海軍當路にては其の金額の一部を割きて殉難者の慰靈及紀念の爲め建碑(多分呉鎭守府管内景勝地)する事に決定せり(同上)

▲英大艦隊の訪問 倫敦來電に據れば英國政府は來年八月末二百隻より成る艦隊を編成し地中海を經て支那及日本を訪問し夫れより米國の西岸に遊弋せしむべし(同上)

▲伏見宮の御出發 加藤駐英大使より外務省に着したる報によれば伏見宮貞愛親王殿下には廿七日倫敦御出發佛國巴里に向はる見送り頗る盛なりし(同上)

▲海軍擴張と會議 海軍省にては來る六月各鎭守府司令長官要港部司令官全部を東京に召集し海軍大擴張に關する重要會議を開催し豫算案を決定の上第二十七議會に提出すべし(同上)

▲海軍の特命檢閲 大元帥陛下は來る七月を期し海軍防備の狀況を特に檢閲せしむるの御沙汰あり檢閲使には伊東、山本、東郷、井上の四海軍大將に御下命あるべく有栖川大將宮殿下には御微恙御靜養中にわれば今回は加はらせられざるべしと(同上)

▲駐日清國公使任命 郵傳部左侍郎王大燮氏は胡惟德氏の後任として東京駐剳全權公使に任命されたり

▲露國の新設領事館 露國政府は咸鏡北道城津港に領事館を設置せんとす(同上)

▲實業團の北京到着 渡清實業團は廿六日北京に着したり日清官民の出迎頗る盛なりき(同上)

▲南京博覽會の開期 南京博覽會は六月七日より開會することを決定せり(同上)

紐育電報

▲清國借款の取極 清國川漢鐵道資金三百万兩の借款取極は愈確定せられたり(廿七日)

▲米國海軍の擴張 米國上院は二十四日遂に一億三千萬兩の海軍豫算案を通過せり(同上)

社説

勲章事件の落着

韓廷より我三宮妃殿下へ勲章贈進の際に當て義親王、李載覺、李夌鎔三夫人に下賜したる古色蒼然たる古勲章を引揚げ新物の如く裝ひ贈進せんとしたる不敬事件に關し閔宮内大臣小宮同次官金秘書官は必ならずも戒筋の注意に依り進退伺を提出したる事は既報の如くなるが我政府に於ても愼重審議したる結果引責せしむる事に畧ぼ内定したる由なるも大事を控へたる此の際なれば小事は忍ばさる可らずとの理由にて特に今回は寛大の處置を爲すに決定し閔宮相小宮次官に對しては之を譴責し金秘書官に對しては一箇月の罰俸を申付け落着せしめたり我政府が一刀兩斷の快決に出づる能はざりしは日韓兩國民の共に遺憾とする所なり

不敬問題解決眞相 (某消息通の觀察)

勲章贈進に關する不敬事件は別記の如く無難作に決着を告げたるが之に關し某消息通の談に曰く斯程の重大問題が一片の戒飾位にて落着したるは一般人の最も不思議に感ずる所なるべし然しながら此が處分に就ては我官憲も非常に頭を腦ましたる由にて一度は閔宮相小宮次官も當然の責任として引退せしむる事に内定せるも再三審議の結果は遂に斯く寛大の處置を見るに至れり而して其理由は韓國に於ては宮内大臣は事實國務大臣と同樣閣議に列して政務を議し名は宮内府大臣たるも實は國務大臣なり而して今回の問題にて閔宮相を引責せしむれば内閣の一角に異動改造を見る結果となり其影響する所甚だ鮮からざるあり我政府は決して勲章問題を輕視したる次第に非るも時節柄内閣の異動を生ぜしむるは得策に非ずとして閔宮相は留任と決したる也聞にして引責せしめず小宮次官のみを誡るは不條理なりとて氏も亦留任せしむる事と決したる次第なりと(電通)

全羅南道の飢饉

全羅南道昌平郡地方に於ては毎年本時期に至れば食糧に缺乏を訴へ雜草を摘みて之れに少量の米を入れ僅かに露命を繋ぎて新麥の收穫を待つもの尠からざる有樣なるが本年は昨年の旱害に依り例年に比し一層の困難を來たし同郡内十二面は慘狀殊に甚だしきを以て財務署郡衙協議の上各面に保管せる社還米を以て例年に倣ひ救濟することとし本月十日より縣内面右縣内面、北面の三面より貸付を開始せり尚各面の貧困者に就ては目下調査中の由なるが今縣内面に於ける貧民生活狀態を聞くに甚だしきは二日間に雜草に米を混じたる汁を一食するに過ぎざる有樣にて爲めに顔色憔悴肉落ち對話に堪へざるの慘狀實に見るに忍びざるものありと云ふ

六師團の輸送濟

歸還師團第六師團守備隊の輸送は豫定の如く進捗し去る二十三日歩兵第二十三聯隊新浦より翌二十四日同第五中隊西湖津より乘船し出發したるを最終として全部故障なく韓國を發せり又歸還部隊は歸朝後身体檢査の結果一名の患者なく衛生狀態は一般に良好なりしと

●京城基督教青年會 同會は基督教の主義に則り青年の社交的狀態を改良し其の智識の開發及び道德宗教心の進歩を計らんとするものにして目下事業未だ漸く緒に付かんとするに過ぎざれども已に夜學校を設け英韓兩語を教授し會員の懇談會を開き相互の智識の開發を計り又講演會ありて名士の研鑽涵蓄する學說を學び會員には日本基督教青年會本部の發行する「開拓者」を配布し尚近き將來に於ては寄宿舍を開き在韓多數の青年の必要を充たさんと期せり目下會館は旭町四丁目に在り尚今二十八日午後八時より日の出町小學校前京城基督教會に於て左の青年會講演あり

社會に於ける青年の價値 丹羽清次郎君
米國青年會の活動 ジレツト君
京城市と青年會 渡邊暢君

尚韓國日本人青年會總幹事丹羽清次郎君は京城青年會幹事を兼ねて盡力せらるゝと云ふ

●小作人と褒賞規程 度支部は國有地小作人獎勵の爲め部令第十九號を以て左の通り褒賞規程を定めたり

第一條 國有地の小作人にして組合定款又は小作契約を遵守し又納期を愆らずして公課及小作料を完納し若くは農事に勤勉して成績優等なる者に對し財務監督局長は此に金品を施賞する事を得

第二條 國有地の小作人たらざるも國有地農事の改良又は小作料の徵收に關し特に功勞ありと認むるものに對しても亦前條施賞を行ふ事を得

而して右は發布の日より施行せらる

●土地調査法と各部 土地調査局は既に開設されたるが之に伴ふ土地調査法は法律として發布すべく目下該局より案を具して統監府を始め各部の意見を求めつゝあり右法律は土地調査に關する根本法にして別に度支部令を以て其施行規則を定め更に權利關係を審査確定する爲各道に地方土地調査委員會を中央に高等土地調査委員會を設けらるべき筈なり

●葉錢引上高と累計 中央金庫貨幣整理局の調査に係る五月一日より十五日に至る葉錢引上高は八千七百二十貫にして一萬七千四百四十一圓なり而して引上開始以降累計は一百六十万四千四百六十七貫此金額三百二十萬六千〇〇八圓なりと

●新任郡主事の着任 新任郡主事四十名は六月五日に着京する由にて此を以て本年度に採用したる主事は全部着任する譯なりと云ふ

●定例内閣會議開催 二十六日朴總理大臣處理、趙農相、高度相、閔宮相登閣定例内閣會議を開く

社會小言

▲會社銀行商店等の經營に於て使用人の欠くべからざる要素たることは今更ら云ふを要せず、使用人良きか營業繁昌す、然らざれば失敗に了る。

▲斯く欠く可らざるの要素たる使用人に對して、我儕者乃ち主人は常に自らを高ふし彼等を目するに古風の長松丈八を以てし其待遇の如きもヒヂキと油揚を以て滿足せしめんとす。

▲而り現時の使用人は長松丈八に非ず彼等は學校教育に因り、將た新聞雜誌に因り、文明の何物たるを解す、最早ヒヂキと油揚とを以て滿足すべきに非ず。

▲而り使用人側に言分あり、大に言分あり、而かも主人側にも言分なきに非らず。

▲京城に於ける銀行會社商店の數幾百而かも其幾千の使用人中能く己れの本分を解し、主人に忠否は別として日々の業務に忠實なるもの幾人かある。

▲或者は帳簿を不整理たらしめ、或物は商品を粗末に扱ひ、或者は主人の金を私消し傭主に迷惑を掛ると同時に其身を壞るもの瀨々として現はる抑之れ何人の罪か。

▲社會は相持ちなり、傭者被傭者相俟つて營業は立つなり、京城現時の狀態は實に寒心に値すなり。

▲頃者京城商業會議所勤續店員獎勵規程を設け使用人に向つて行賞の沙汰を爲すべしと云ふ、之れ美擧にして記者の持論に恰當するものなり。

▲近く三菱の使用人莊田平五郎退隱するに主人岩崎彼が四十ケ年勤續の功勞に對し慰勞金二十五萬圓と年金五千圓とを給す、我京城の使用人及主人諸君莊田岩崎に學ぶところあつて可也

●布教所新築工事 曹洞宗仁川布教所に於ては新昌洞に假本堂を新築する事に決し既に去る十八日より工事に着手すると共に來る八月十五日迄には必ず竣工せしむべき豫定なりと云ふ

●仁川裁判官異動 京城地方裁判所仁川支部檢事渡邊助次郎氏は義州區裁判所判事に同喜頭判事は京城區裁判所判事に榮轉したるが其後任には全州より志水檢事春川より大庭判事來任の筈

●●●●●●

●横山校長の歸任 先月二十七日當地出發内地學術視察の途に就ける南大門小學校長横山強殿氏は兵庫、神戸、大阪、奈良等の各地を視察名古屋に於て開催の全國教育大會及東京に於ける帝國教育會主催の全國小學校教育會議等に出席し一昨二十六日夜歸任せり

●森滿鐵社員來韓 滿鐵社員森貞次郎氏は沿線視察の上京義線を經卅一日南大門着入京の由氏は秋聲會の老俳にして號を無黄と稱し俳句に堪能なりと

●末延道成氏入京 昨二十七日朝末延道成氏夫妻釜山より入京したり

英國大使の來韓

東京駐剳英國大使マグドナルト氏は臺灣を視察したるが尚は近く韓國漫遊の途に上るべき希望ある旨東京或る筋より當地の某參與官の許へ私信にて通報ありたりと

京龍合併の申請

龍山民團を廢して京城民團に併合することは過日京城ホテルに於ける三浦理事官を始め兩民長及び兩民團議員の會合に依りて決定したるを以て三浦理事官は廿六日統監府へ右合併に關する申請を爲したりと云ふ

釜山沖の密漁船

清國密漁船二十六隻牛耳島附近に出漁したるを以て木浦警備所は第二、第三號警備船に警察官及稅關監吏を搭載して急行したることは既報の如くなるが又々黑山嶋近海に二十隻の密漁船現れたるが時恰も警備船に破損ありたるを以て二十五日釜山に入港の光濟號を同島方面に急派し之れが取締を嚴にすべしと云ふ

危險の屠牛業者

警視廳は昨年來城内屠牛場の改良を斷實行したるを以て今日に於ては病牛斃牛及屠場より出づる汚物の取締等苟くも公衆衛生に危害を及ぼす源因を殆んど杜絶する迄に至りたるが茲に注意すべきは支那人屠牛業者にて彼等は城内に數ケ所の屠場を設け將さに傳染病流行の兆ある今日に於ても病斃牛を扱ひ剩へ汚物血塊等を街側の溝渠へ放捨するを以て旁々公衆衛生に危害を與ふるところ尠なからず、聞くところに因れば支那人は治外法權を有するを以て警視廳は如何ともなす能はざるものゝ由なるがさりとては公衆衛生に關し治外法權云々を說くの要もあらざるべく已にコレラ患者さへ發生したる今日に於て當局者は何とか取締の方法を講ぜられたきものなり

漁業者と氷需用

近來魚類の貯藏及び輸送に冷藏の目的に依り氷を用ひること漸く流行し日本の沿岸漁村の如き多少遠隔し地に向ける鮮魚の輸送は概ね氷詰となす傾向あり市價も亦無氷輸送物に比し二割内外の高價を保つ有樣なり韓國南海岸に於ける日本の漁業者も氷藏輸送の利益なるを知り漸次此方法を用ひるに至れり釜山水產會社の如き魚類氷藏輸送の爲め昨年中に於ける氷の消費高以十四萬貫余に上りたり今後氷の需用は漁業の發達に伴ひ必ず增加すべき趨勢を有し魚類の輸送上の一要品として缺く可からざる物となりたり朝鮮海水產組合が度支部より借受けたる製氷及び冷藏庫事業の中にて製氷は一日九噸、一箇月二百七十噸、十箇月二千七百噸を產出する設計にして其内溶解及び缺損量を約三割と見込み貫の供給は千八百九十噸即ち四十五萬三千六百貫目を得る豫想なり而して前記釜山水產會社の手に於て魚類氷藏用に使用したる氷量凡そ十四万貫にして其他同地商人が釜山及び其附近に同樣の目的及び飮料用として需用せし氷量は約十萬貫なるに依り其六割を魚類用とせば六万貫なるを以て之を合すれば釜山及び其附近に於ける魚類使用の氷量は凡そ二十萬貫と看破することを得べし今之を製氷所に於ける四十五萬貫より引けば二十五萬貫は即ち他地方の水產業及び一般需用者に供給し得るを以て從來沿岸に於ける魚類の供給不便地たる馬山、統營、三千浦、麗水、巨濟島、濟州島、木浦、群山、方魚津、迎日灣等に於ては忽ち其恩惠に浴することを得て漁類の輸送上至大なる利益を享有するに至るべし從來前記の地方に於ける氷の需用供給を見るに馬山にては四萬貫内外群山にては二萬貫内外の需用ありて馬山にては主として密陽、浪江に於ける天然氷を群山にては浪江の天然氷を使用し人造氷を使用するもの極めて尠なく其他の地方にては概ね飮料用を主たる目的とし且つ高價なるを以て其需用高多からず然れども氷の價格易く且つ之が供給を得るに便宜あるに於ては今後需用の增加するは疑ひなかるべし因に水產組合の製氷價は一斤三厘乃至五厘の豫定なりと云

●墺國皇族と獨大使 入京中なりし墺國皇族オルレアン殿下及駐日獨逸大使ムンム男は二十七日午前九時南大門發北行列車にて安東縣に向ひたるが右に就て本多通譯官案内者として隨行せり見送人は日韓文武官、獨逸總領事其他外交團員等なりき

●水利組合法案審査 水利組合法の制定は產業開發上緊急事たるは屢々記載したる處なるが二十七日内部に於て地方土木の所局關係高等官會議を開き該法案に就き討究審議する處ありたるも議論區々に岐れ結着する處あらざれば是れが閣議に上るは尚數回の審査を經たる後なるべし

●合併後の京龍電話 目下京城及び龍山間電話通話料は行政區劃を異にせる爲め相互市外地と見做し通話五錢の料金を徵し居れるが兩民團合併の曉は自然此制度は撤去せられ無料交話し得べしと云ふ

●中島大佐等の一行 鐵道事務視察の爲め韓國巡視中なる鐵道院總裁官房課本部課長中島大佐は名倉鐵道院參事久門幹線管理局技師岡伴二十六日午後四時四十分馬山發列車にて釜山に向へる由其筋に電報ありたり

●内部大臣の平壤行 朴内部大臣は平壤水道開通式に臨席する爲め昨二十七日平壤へ赴きたり

●福永海軍經理局長 二十六日午後十時四十分釜山發列車にて福永海軍經理局長馬山に向ひし由

●清國郵遞大臣渡日 廿七日午前九時南大門發列車にて清國郵遞大臣端錦氏一行渡日の途に就けり

公人私人

▲稲谷龍三郎(統監府通譯官)二十六日釜山より入京三日月旅館へ投宿す

▲淺見忠治 釜山水道事務所長 二十六日釜山より入京浦尾旅館へ投宿す

▲佐藤政太郎(晉川種苗場長)二十六日晉州より入京巴城館へ投宿せり

▲竹內榮太郎(慶尚北道書記官)二十六日大邱より入京巴城館に投宿す

▲向井巖(平壤控訴院檢事長)入京中の處二十六日平壤へ歸任せり

寄書

京龍合併問題(續)

岡村義次郎

龍山市街は速かに繁昌に赴くべしと謂ふは京元、湖南兩線の開通等を條件として主張するものなるべしと雖ども鐵道の交叉點は單に其地點たりとの理由に依り繁昌するものにあらざるは前述したるが如し予は京城の發達が漸次龍山に其影響を及ぼすの傾向あるを認むるに止まり龍山夫れ自身としては急速の進歩を爲すべきものにあらずと信ずるなり合併後と雖ども論者は龍山に巨額の費用を投じて其市街を改良するを要せずと謂ふも論者試みに龍山市街の現狀を一瞥せよ抑も龍山市街は政府が財政上の力量を測らず又政体の異なれるに心付かずして漫然露國の行爲を模倣して計畫したるものなれば其形体に於ても四肢相整はず一大手術を施さゝれば形を成さす地勢も亦た巨額の資金を投下せざれば街衢を形成する能はざる所謂未成品なるものなり京城民團に合併したる後永く之を現狀の儘に放置くは勢ひの許さゝる所なり必ずや合併後時を經ずして幾多の施設經營は時勢の必要に促かされ要求せらるゝに至るべきなり予は合併なる事實は今後幾多の紛擾と巨額の負擔を京城居留民の頭上に壓下し來るものにして之を約言せば京城民團は誤りたり計畫に依りて成れる未成品的市街を引受け爲めに好みて自ら紛擾と窮乏に陷るものなりと斷言するを憚らざるなり

論者は合併後に於ても京城民團の財政に格別の負擔を增さずと主張すと雖ども龍山は速かに繁昌すべし市街は今後格別の施設經營を要せずとの前提の下に之を主張するものなれば其說の誤まれるは前に述べたる所に依り明かなるべし京城民團の財政は豐かなりと說くものありと雖ども予は之を信ぜず各人の負擔に就て論ずるも滯納處分を受くるもの多きに依り之を證すべし又民團の經營すべき事業に就て觀察するも必要なる施設を缺くもの枚擧に暇あらざるを以て之を證すべし自家の經營未だ至らざる所あるに京城民團は猶ほ自ら好んで他人の子弟を引受け他人の家屋を修補せんとするが如き行動を執るや予の解せざる所なり。

▲治外法權▼

帝國議會で[illegible]移民集中を說いた小村外務大臣は先頃人を派して滿洲と半島との移民事業に就いて調査せしめた、派遣された其使命の結果兩地共絶望の旨を小村伯に復命した▲復命に接した小村伯は驚いた、併し議會でアレ程の廣言を吐いて置いて今更ら絶望で御座いますとも言ひ得ない、夫に亦々本年の議會に對する準備も要る、旁々近々人を派して再調査をやらかすソウだ▲曾て記者が職言した通り支那の密漁船問題が段々大きく成つて來たヨウだ、ナニ西海岸に出漁して居た支那船が南海岸に巢を換へたと、夫れで光濟號が急航したと、イヤに光濟號が奔命に疲れるから見ろ▲支那漁船の韓海出漁に就いては昔からの歷史がある、夫れを無視して徒らに威力を以て追拂ソウとしてもソウ容易くは行かぬ、記者の見に因れば支那の漁船が果して國際間のボオチアと認むべきものであるか否かゞ疑問だ▲議論は議論として日淸の國交は親善の上にも親善を要する、密漁問題位で顏を赤くしてもツマらぬ、何とか互惠的な解決法がありソウなものだ▲コレラ患者が當地黃金町に發生した、去年の苦い經驗もある、ドウか各自が警戒するようにシタイ▲先立てのヂヤパンメールに三浦理事官の京城衛生狀態改良に關する功賞の記事があつた、理事官の功勞はメールの言つた通りだ、但し此功勞をコレラに蹂躙されぬ樣になさい



名妓洗髪のれ妻(三)

▽滄浪閣の二階から落ちた
▽將來に就いて迷つて居升

私の氣性が此んなですから、靜間を一度は引立てたものゝ別れては其儘忘れたやう、わかの他人で濟まして居られるのですがね、昔の者い既近色懇の沙汰ぢや無い人は、爾うではありませんよ、半井桃水の叔父さんなんかが常に爾う有仰るのです、れ妻ばかりは妙だ大抵の人は得意の時には昔の知り合ひには何んとも云つて來ないで、不可ない時には碌い人間を使るものだが、れ妻ばかりは人どは幾つてゐる、遇然ではあるが手紙を寄こす時は少しは懐合ひの都合の好い時で、例の借金で困り抜いて、花の家の二階へ便器までも齎らして、龍城といふやうなれ難な時には、決して碌い人には一本の手紙も出さないのは感心だと、褒められるのですがね、何も褒められる程の事ぢやない、私は人間の當り前だと思つてゐますわ、私が隨分借金に苦しんで到底抜ける道が無いと思つてゐましても、ドン詰りまで行くと、私を起こして與れる人が乾度出て來るのです、それは必ず誰れといふ決つて人ぢやありませんが、六かしく云ふと物極つて通ずとでも云ふのですかね▲例の**妹**のますが**小奴**で出てゐました、本町の丸入の總領息子さんの一郎さんに引かされて、舷地で濱村といふ**待合**を出してゐましたが、何をいふも水商賣の事ですから、立派な旦那があつても始終れ金には困まつてゐまして、去る人かられ金を借りた時に、私が連帶といふ事になり印を捺きましたが、其れが大變事が面倒になり私も**差押へ**を喰つたのでした、其の時など例の二階住居の極端まで行つたのでしたわ、何うする事も出來なくなり、到頭花の家の名前おや煩さいと思つて叶屋のれ母さんに頼んで本叶屋で出たのでした其折のれ金も實の處は伊藤の御前に出して貰ひました、大磯へ行つてれ金を貰らつて歸へろうとした時に、私しは酔うてゐましてね**滄浪閣の二階から轉げ落ちて**、左の手が今に伸びなくなつたのです、斯んなドン詰りには誰か助け手があるとばかり考へてゐるものですから、御前が失れちや不可ぬと常に心配して下さいまして妹が厭前に丸入の一郎さんに世話になつてゐた頃私が井上……例の**古賀吉**さんから別られて、何したらば好いか自分にも分らず、思案に餘んでゐた頃、伊藤の御前に相談すると、れ妻れぬしは井上吉五郎に別れ離しで、素人になつては好くはなからうよ、再び藝者になれ、藝者になるのは、藝者になつて何うといふぢやない、藝者になつてれぬしの**身体**をれ妻の名に對して**洗ひ直**して來るが好いのだ夫で程好い機會を見つけて再び引けよ俺が眼の黒い間は面倒を見てやらうと云つて下さつたので、本叶屋のれ妻で出郷になりましたが、私は隨分と**將來**に就いちや今に**迷**つてゐます何したらば好かと思つて其後**高島**さん、柄之助さんね、あの方のれ宅へ行く事に話が極りかゝつた時に、私は伊藤の御前に相談に行きました。

李在明の第二審

▽公判期は未定なり

第一審の判決に服せずして控訴せる兇漢李在明及其一類に關する一件書類は目下控訴院檢事局の手に在りて査閲中なるが何分連類被告人の多きと地方裁判所檢事局に於ける審問搜索頗る綿密なりし如くなれば書類も自然浩瀚に渉り居るべし故に檢事の査閲を了へ判事の手許に廻付さるまでには尚ほ多少の時日を要すべく隨つて公判期は未定なりと因みに係判事は裁判長楠常藏陪席河村尙德中載永の三氏なる由

此の女に親が有る

▽又々酌婦へ說諭願

香川縣當時龍山觀町中村藤吉は本年三月郷里に歸りたる當時同地の堺はつの娘女かめ(十九)を韓國で下女奉公せば一箇月十五六圓の收入は充分なれば母元に七八圓以上送金出來るとて同伴し來り龍山の某料理屋に前借金百二十圓にて賣飛し四月十六日京城御成町料理屋玉船事嶋くに方に鞍替へし盛んに淫賣を勵み郷里の事をも打ち忘れて泥水生活なし居るが母はつの方は一向金も送り來らず音信だに爲さゞるより歸國說諭願を西署に郵送し旅費を送付す可き旨申越たるより本人を呼び出し取調べしに前記の次第なるより其の旨回答せし由なるが之を知りたる實母の悲嘆は嘆かしなるべしと

花奴の伯林行

▽バロン、ムンムに隨行し
▽併し出發期は未定なりと

嘗つて當地に於て藝妓芝居の催されたる時照手姫に扮し贔れやらの小栗判官が何んとやらして妹背の道を教へて遣らうかと云ふに對し教へてたべと申したる花月樓の**花奴**其所で始めて妹背の道を敎はつた譯でもあんめえが當地紳士連にも大分御親類筋を有し居ることは隠れもなき事實なるが此の妓がスッキリしたる立姿、クッキリと白い顏の色、心持下つては居れどハッチリとした眼、キリッと引き締つた口許、座わるとニユウッと突き出る膝格恰と**片假名澤山**の形容の入用美ちい所を此程滿韓觀察の途次入京せられたる駐日獨逸大使**バロン、ムンム**が馬車の窓から覗いたれ目に止まり本國の**伯林**にも現在居る**東京**にも隨分女はあれども**彼女程美しきは無し**との仰せ承つて其儘置けず一夕の宴に侍らしめたるに少々間の拔けた接待振から**宋秉畯に教はつた樣**な不明瞭な**日本語**迄が氣に入つて終ひ滯京中寢た間と外出の時は別とし片時も側を放さず花奴シャン私十年若い宜しくあるとことを仰云るに同人は上氣して耳を赧アくし**モンムシヤン今でも結構**だワとてそ申しけるが其所迄は言葉が通せずチャと云つて通譯を付ける譯にも行かず殘念の唾を飲み込んで居たが其の後と云ふもの逢ふ人毎に「アテは**モンムシヤンとベリンへ行く**んだワ」と蕪口の如な鼻を突き出して居るとか



君江の濡れ衣

▽邪慳なのは養母みす
▽堪忍たしよ君江さん

昨日の本紙に親不孝と題して記載したる花月樓君江に關する記事は精探の結果聊か**事實相違**せることを以て今其の異狀を記さんに君江の現在の母みすと云ふは貧乏にして何程送金しても其の時丈けはジューッとは云ふが夫れはホンの其の場限り又しても又しても**無心狀**に小さき胸を痛めても收入らぬ金の怨れ樣答なければ此の度も**收入つたら送らん**との考へ中突然其の筋へ說諭願ひを提出したる次第にて決して同女の不心得に非らずと實際氣の毒だつた

●**謀故殺犯の判決** 咸鏡南道北靑郡宮山面江興洞劉元燁は曾て同郡居山面乾日里朱士浩の實兄朱英浩より識官の辭令書を買ひ其の代金を完濟せざるより朱英浩は烈しく催促するに當惑の餘り浩を殺して辨濟の苦を免れんと決意し外二名の助力を求め四十二年二月斧を以て催促に來りたる英浩を殺害し朱士浩は實兄英浩の歸りなきより其の蹤跡を探りたる結果本年二月七日事情を知り大に憤慨して劉元燁の宅に到り事情を尋ねしに劉の妻一人にて知らぬと云ふより妻高氏を麻繩を以て縛し雜木を以て打ち殺したる事件は咸鏡地方裁判所に於て劉は絞刑に朱士浩は懲役七年に處せられたるに不服控訴中の處二十六日控訴は棄却せられ原判決通り言渡されたり

●**浮浪者餘罪發覺** 本月二日南大門通りを彷徨し居たる男を烟眼なる西署の刑事が認め本署に引致し取調べしに福岡縣三池郡大牟田町村上力松と稱せしが一定の住所職業を有せざる浮浪者として拘留三十日に即決せしが餘罪ある見込にて嚴重に取調べ各所へ照會中なりしが右は僞名にして實は熊本縣飽託郡本庄村平民無職松永熊雄とて前科七犯の曲物本年四月十二日熊本區裁判所に於て賭博犯に依り懲役二年罰金六十圓に處せられ逃走四月廿六日南大門驛構內に於て某紳士の財布をスリたる事發覺し二十七日檢事局に送らる

●**寢所もあらふに** 寺洞分遣所空官舍に臥て居る所を發見せられたるは福井縣丹生郡宮崎村日尾村三十八番戶當時櫻井町西谷富吉方木挽職前田俊藏(三九)警察犯所罰令違犯として銅峴分署に告發せらる

●**狂水病豫防注射** 今回內部衛生試驗課に於て狂犬病豫防「パストール」注射用固定毒を製造大韓醫院に於て治療し將來狂犬病又は同疑似の犬馬猫(鷄)等の家畜より咬傷せられたる場合は速に大韓醫院にて治療を受くべしと

●**酌婦の健康診斷** 料理屋飲食店酌婦仲居に對し去る二十一、二十五、二十六の三日南部署にては管內の健康診斷を行ひたるに百四十三名中七十一名は有毒者にして其症狀の程度に依り營業を禁止し或は入院治療を命せりと

●**仁川雜事** 仁川花房町木村組主は二十六日運輸部前にて一圓を拾得し其筋に屆出づ▲仁川に於ける盂蘭盆祭は例年舊暦に依り行ひ來りしが各寺院及び檀徒申合せの上本年より新暦を採用する事に改めたりと



女振り

桑原商店內 桑原たか子

桑原商店とは本町一丁目の綿布卸商である、蚊帳、蒲團、フランネル、セル地、浴衣地等を手廣く取扱つて居る、店主の久藏君は廣島生れでれ若いに似ぬ敏腕家で流石の中村再藏君にさへも舌を捲かせた程だ、開業せられた當時の店は明治町であつたのだが商勢發展の爲め現の所へ移轉したのだ、たかさんは明治二十二年の出生で產地は同じく廣島縣である、同市の高等女學校の專修科に修業せられつゝあつた三十九年の二月、即ち十八歲の春二月久藏君に嫁がれたので既に今年四歲になられる男の子さんがある、四十一年も押し詰つた十二月渡韓せられたのだ、渡韓當時はたか子さんはれ台所の人で手にはヒビ足にはアカギレを龜裂しての大活動であつたが今日では帳場に座つて主人の手助けをして御座る、れ客が混合て店員の手の回り兼る樣な場合には店頭に乘り出して商賣もなさる、應接振りも確固したもので久藏君仕込みの早速の駈引も手に入つたものである、れ嗜好なものは牡蠣のドテ燒小豆島の名產れ甘藷の丸燒、但し御亭主と息子さんは云ふ迄もない、店員の氣受けもよい。

目と耳

▲**歌舞伎座** 同座二十八日(五日目)の番組は左の如くなりと 面の餅(燕樂)棒の曲、火燃の傘(一丸)常陸丸、太田道灌(春子)赤穗義士大石內藏之助、旅順方面水師營攻擊 桃川若燕)

▲**壽座** 同座二十八日の替り藝題は「檜山實記相馬大作」にして役割如左 飯田市十郎、庄屋畑作(歌若)女房れみき(正三郎)娘れきぬ、娘れ若(內匠之助)國定忠吉、川端勝藏(三之助)飯田市郎太、河內守、歌太郎、百姓傳助、南部大せん(九十郎)相馬大作(竹三郎)伊達三次、福輕延り(大舍)

▲**浪花舘** 二十八日の番組は左の如くにして十錢均一の早い者勝ちなり 地獄八景(若三郎)金明竹(若明)百人一首(圓三)月宮殿(笑三)口合小町(文喬)喜劇 座員總出)野晒(若遊三)大切所作事電氣應用

▲**龍山座** 二十八日の替り藝題は「乳姉妹」七幕にして配役左の如し 松平君江(野村)松平房江(澤井)田川れ濱(石井)百合子(白石)三原滋(內田)綾小路(寺田)久米雷伯(富士井)橋本照信(瀧澤)松平照定(桃井)高濱勇(木村)

三面電報

▲**大相撲日割** 備韓巡業 常陸山梅ヶ谷以下東京大相撲は釜山、京城、仁川の三個所にて十五日間興行大連に向ひ同地にて同じく十五日間興行打上げ後直に渡滿の豫定なり

南山新公園の命名

▽太皇帝親筆を賜ふ

廿九日開園式を擧行すべき南山西麓の新公園命名に就て豫て農商工部大臣趙重應氏より太皇帝に奏請しありたるが強く此擧を嘉し給ひ廿七日勅使を以て左の通御親筆の篇額を下賜せられたり 漢陽公園(縱四尺一寸横二尺二寸五分)靑鶴亭(縱二尺二寸五分横二尺九寸五分、龜屋別莊の上)黃鳥亭(縱二尺六寸七分横一尺八寸四分、運動場の上)展觀亭(縱二尺六寸横一尺八寸四分、米倉町の上)漢陽俱樂部(縱五尺三寸横二尺二寸五分)何れも珠潤と雅號を御使用になれり然して右御禮の爲め本日池田長次郎、小川勝平兩氏德壽宮に參內したり

●**觀世會素謠大會** 來る二十九日(日曜日)午前八時より大和町三丁目梅の家に於て開會す 吉野天人 杉山氏、高崎氏)土蜘蛛(寺川氏、秋場氏、和光三宅氏、胡蝶 齋藤氏)杜若 安藤氏、木村氏、櫻川(山口氏、久能氏、男田本氏)唐船 佐々木氏神吉氏、唐子坂井氏、大槻氏、日本子深尾氏、赤松氏)邯鄲(片山氏、柴田氏大臣三好氏)大佛供養(權太氏、森氏母笹部氏)熊野 佐々木夫人、村上夫人、ツレ武笠令孃)葵上(千藤氏、栗並氏、神子福垣氏、大臣長谷川氏)藤戸中川氏、村上氏)鶴吟▲番外 芦刈 永井氏、伊藤氏、ツレ國枝氏)安宅 安住氏、菱谷氏、判官山口氏、ツレ片山氏)猩々(三田氏、井上氏)仕舞

今日の運勢

五月廿八日(舊四月十九日三碧)●佛滅癸巳建△一白●平凡の日相談依囑旅行及金融に關する事に適す△二黑●怠慢疎漏惹起し易し盜難妄言の難あり△三碧●他の口舌に動かされ易し旅行貸借取引△四綠●轉住婚姻集團結社凶△五黃●賣買控へ目にすべし競爭あり△六白●紛失遺失の恐れあり建築動土吉△七赤●障碍多し新事及變更の事凶尙行商旅行婚姻の事に忌む△七赤●杜塞の日新事及訴訟相談依囑見合すべし建築に吉△八白●徒勞に歸し易き日金錢取引貸借談無効なし新事手控への事△九紫●順進の日大抵吉入學門婚嫁旅行命名旅露等に吉(本町五丁目三一館判斷)